

平成21年2月23日

各 位

会 社 名 株式会社SFCG
代 表 者 代表取締役社長 小笠原 充
(コード番号8597 東証第1部)
問 合 せ 先 取 締 役 山 村 友 幸
電 話 : 0120-01-3696

民事再生手続開始申立てに関するお知らせ

当社は、誠に遺憾ではございますが、本日開催の取締役会において、民事再生法に基づく民事再生手続開始の申立てを行うことを決議し、東京地方裁判所民事第20部に民事再生手続開始の申立てを行い、受理され、直ちに同裁判所から弁済禁止等の保全命令及び監督命令が発せられましたので、下記のとおりお知らせ致します。

かかる事態を迎えるに至りましたことにつきましては、これまでご支援ご協力いただきました関係者の皆様に対し、誠に申し訳なく、心よりお詫び申し上げます。

記

1. 申立ての理由

当社は、従前より保証付き貸付（商工ローン）を中心として業務を行って参りましたが、過払金返還請求の増加に伴う多額の資金の流出及び引当金の計上、平成18年の貸金業法改正等により、商工ローン業務を取り巻く環境が悪化したことから、収益構造の転換を図るべく、近時においては、よりクレジット・コストの低減化が見込める物的担保貸付中心の貸付残高構成を指向し、不動産担保貸付の拡大を図っておりました。

また、当社は、従前より米国系の金融機関及び証券会社を中心に資金調達を行っておりましたが、平成19年8月以降、米国ではサブプライム・ローン問題を発端として金融危機が深刻化してきたため、その影響を回避すべく、①欧州系及び国内金融機関からの調達、②エクイティによる調達、及び③資産処分による調達等、あらゆる対策を講じ、当社の資金調達構造の改革に取り組んで参りました。

しかしながら、サブプライム・ローン問題を端緒とした金融市場・不動産市況の悪化は急速に進み、その影響が米国のみならず諸外国にも波及した結果、日本においても平成20年には上場不動産会社の倒産が相次ぐこととなりました。そして、平成20年9月の米国のリーマン・ブラザーズの倒産等を契機に金融危機は一気に加速しております。

このような未曾有の不景気の中で、当社につきましては、米国の金融市場・不動産市況によって多額の損失を被った米国系金融機関だけでなく、サブプライム・ローン問題の影響を間接的に受けた欧州系金融機関、不動産価格及び株価の下落により損失が拡大した国内金融機関も含め、国内外を問わず金融機関からの資金調達が著しく困難となるという状況になりました。

また、当社が近時の中核業務としておりました不動産担保貸付につきましても、不動産市況の

悪化によって新規貸付の激減、既存貸付の返済不能といった事態が生じ、当社を取り巻く経営環境は極めて厳しいものとなっております。

このように、新規の資金調達が著しく困難となる中、既存債務の返済に充てる資金が逼迫し、当社は、自らの貸付債権の回収に注力することにより資金繰りをつける途を模索致しましたが、昨今の著しい経済情勢の悪化の中、平成21年2月の決済資金の調達が困難となるに至りました。

このような経緯のもとで、誠に残念ではございますが、当社と致しましては、自助努力による再建はもはや限界であり、これ以上現状を放置すれば、事業の継続に著しい支障を来すおそれがあるため、一刻も早く当社の経営を立て直すことが必要であるとの考えに至り、民事再生手続の下で早期に事業の再建を図るべく、本申立てに及んだ次第であります。

2. 負債総額（平成20年10月31日現在）

3380億4000万円

3. 今後の見通し

当社は今後、東京地方裁判所及び監督委員の監督の下で、スポンサーの選定を行い、その支援を得て、事業の再建を図る所存です。当社としては、債権者の皆様に対する弁済額の極大化と早期の会社の再建を目指して、全社一丸となって取り組んで参ります。

4. 有価証券上場規程第605条第1項に規定する再建計画等の審査に係る申請の有無

なし

5. 債権者説明会の実施

東京において債権者説明会の実施を予定しております。詳細につきましては、当社ホームページ（<http://www.sfcg.jp/>）をご参照ください。

以上

<ご参考>

1. 申立ての概要

- | | |
|-----------|---|
| (1) 申立日 | 平成21年2月23日 |
| (2) 申立裁判所 | 東京地方裁判所民事第20部 |
| (3) 事件番号 | 平成21年（再）第54号 |
| (4) 事件名 | 民事再生手続開始申立事件 |
| (5) 申立代理人 | 〒100-0014東京都千代田区永田町2-13-10プルデンシャルタワー
東京青山・青木・狛法律事務所ベーカー&マッケンジー
外国法事務弁護士事務所（外国法共同事業） |
- | | |
|-----------|---------|
| 申立人代理人弁護士 | 阿 部 信一郎 |
| 同 | 佐 藤 哲 朗 |
| 同 | 藤 井 康 広 |
| 同 | 粕 谷 宇 史 |
| 同 | 山 本 直 道 |
| 同 | 小 松 正 道 |
| 同 | 新 村 文 子 |
| 同 | 茨 城 敏 夫 |
| 同 | 梅 原 由 香 |
| 同 | 坪 井 祐 一 |
| 同 | 勝 山 正 雄 |
| 同 | 尾 崎 麻 衣 |
| 同 | 山 田 敬 之 |
| 同 | 篠 崎 歩 |
| 同 | 鈴 木 道 夫 |
| 同 | 小 林 史 |
| 同 | 立 石 竜 資 |

2. 会社概要

- | | |
|------------|---|
| (1) 商号 | 株式会社SFCG |
| (2) 本店所在地 | 〒103-8305 東京都中央区日本橋室町三丁目2番15号 |
| (3) 設立年月日 | 昭和53年12月20日 |
| (4) 代表者 | 代表取締役社長 小 笠 原 充 |
| (5) 主な事業所 | 本社 |
| (6) 主な事業内容 | 商業手形の割引業務、資金の貸付業務等 |
| (7) 資本金 | 791億4915万円（平成21年1月27日現在） |
| (8) 株式の状況 | 発行可能株式総数：2498万9730株
発行済株式総数：1224万5470株 |

(9) 株主の状況（平成20年7月31日現在）

株主総数：5713名

(10) 役員の状況（申立日現在）

役名	職名	氏名
代表取締役	社長	小笠原 充
取締役	会長	大島 健伸
取締役	副会長	菊池 渡
取締役		後藤 信義
取締役		竹下 俊弘
取締役		山村 友幸
取締役		長屋 光輝
取締役		大西 一史
常勤監査役		柴崎 薫
監査役		谷 覬 龍二
監査役		堀之内 建二
監査役		野呂 忠幸

(11) 従業員の状況（申立日現在）

92名（うち契約社員及びパート社員17名）

(12) 最近の業績推移

（単位：百万円）

	第29期 （平成18年7月）	第30期 （平成19年7月）	第31期 （平成20年7月）
営業収益	69,110	70,910	83,989
経常利益	22,209	27,580	6,935
当期純利益	11,535	14,607	336